

大正区地蔵尊
大正区の地蔵尊

2 三軒家東2丁目 東
1 三軒家東1丁目 東 蔵尊
大正橋駅近

2 三軒家
2丁目

① 八王子地蔵尊 西
3 三軒家東3丁目
4 三軒家東4丁目2-25 西
北向日火除地蔵尊
5 三軒家東4丁目2-24 西
碓庵前

6 三軒家東5丁目3-14
大正病院裏 空襲でやけ灯籠が目印になる 北
三軒家西の北向き地蔵の所に逃げていった

~~X~~ 7 三軒家東6丁目18-5 東
社は傾き地蔵尊の首落ちて

8 三軒家東6丁目1-10 西
堤防道下八坂神社近く うぶ地蔵

9 三軒家東6丁目17-1
延命地蔵尊-交通事故身代わり NTT近く

10 三軒家西 1丁目9-25

立江地藏尊 岩崎公園近く 北 肩江

- ~~X~~ 11 三軒家西 1 丁目
三軒家西小学校横 子安地藏 S30 年子供海で死亡寄付 東
- 12 三軒家西 2 丁目 14
商店街の路地入る 東
- 13 三軒家西 2 丁目 7-3
北の地藏尊 戦時中四天王寺に預け再び返して貰うぼや怪我
- ~~X~~ 14 三軒家
玉水 瀬戸理髪店横 不動尊 東

泉尾

- 15 泉尾 1 丁目 3
延命地藏尊 銀行裏 S5 年子供溝で死亡 西
- 16 泉尾 3 丁目
子育地藏尊 泉尾高校横 西
- 17 泉尾 3 丁目 4
- 18 泉尾 5 丁目 12
堀越地藏尊 盆には東に向きを変える 北
- ~~X~~ 19 泉尾 6 丁目 2
浪除地藏尊
- × 20 泉尾 6 丁目 泉尾浜通
堤防の外にあり・昭和 8 年川守子安地

千島

- ~~X~~ 21 千島 1 丁目 2
43 号線高架下 西
- ~~X~~ 22 千島 1 丁目
子育地藏尊 泉尾東小学校 西
- 23 千島 1 ちょうめ 24-4
上落合渡し前 盆に地藏尊移動 北
- ~~X~~ 24 千島 1 中目 27

- 上落合渡し手前角地にあり 盆に移動 東
- 25 千島3丁目6 文殊堂 南
- 延命地藏尊 スーパーマルナカ横
- 26 千島3丁目14 北
- 風切地藏尊 自然石
- 北恩加島
- 26 北向き地藏尊 身代わり地藏尊 北
- 小林
- 27 小林東2 南
- 延命地藏尊 住宅団地角
- 28 小林3 西
- 齋場裏 森田運輸駐車場
- 29 小林東8 南
- 個人住宅 小出家
- 30 小林東7-7 南
- 大運寺
- 31 小林西2-3 北
- 中央中学校交差点近く 旅
- 平尾
- 32 平尾2-13-11 西
- 平尾小学校近く 町内安全
- 33 平尾3-8 北
- グリーンコーポ横
- 亥開地藏尊 子安出世地藏
- 34 平尾4-7 東南
- 正等寺 外壁
- 平尾
- 南恩加島幼稚園内 東
- 南恩加島
- 35 南恩加島1

南恩加島公園 子安地蔵・交通安全 西

36 南恩加島

クボタ裏

東

~~X~~ 37 南恩加島 6-19-13

個人宅前

東

38 南恩加島 6-16

工場横 延命地蔵尊

南

~~O~~ 39 南恩加島 4

代運橋交差点近 交番所

西

延命松之木立地蔵尊

40 南恩加島

東

鶴町

41 鶴町 3-16

高野山 鶴町公園近

東

出世地蔵尊 水子供養 地蔵が80体並ぶ

~~X~~ 42 鶴町 1-17

住宅団内

北

43 三軒家東

44

西福時 六地蔵尊

摂津之國第三十一番靈場

単立本山真言宗弘法山地藏院

TEL 551-0002 大阪市大正区三軒家東四一五一九号

FAX TEL ○六一六五五六一七一九六
○六一六五五六一二二一二



本尊 地藏菩薩

詠歌 おいたるも わかきもともに ははとして
すがるはじひの ぼさつなりけり

創建 元禄元年 (1688) 快円和尚の開創なり

道順 〓環状線 大正駅下車南へ信号二つ目左折 市バスでは三軒家停留所下車南へ信号一つ目左折関西アーバン銀行左隣接 赤煉瓦塀のお寺です

行事 春秋の彼岸施餓鬼会 八月盂蘭盆会 十二月仕舞い地藏法会
年四回の法話には分りやすいテキストを配布

院内墓地鎮魂の為の閉門日は別紙にて広報しております

特色 地藏院は山号を弘法山と号し真言宗高野派神応寺塔中にして地藏菩薩を本尊とし開祖の快円和尚は晩年を隠居所と定め過ごされた 快円和尚は神応寺再建に当たつて時の領主柳沢出羽之守吉保の縁故により五代將軍徳川綱吉に拝謁 官費を賜り寺院復興を成功させた また快円和尚は厳格な人柄で多くの門人を育てた 中でも江戸国学第一人者の契沖には高野山修行時代に大きな影響を与えたと記録されています 契沖は水戸光国の要望に答えて「万葉代匠記」を献上 この作品はそれまであまりなかった科学的文献的方法を用いて語釈を中心に漢語学仏学に詳しい知識を傾けて全歌を解釈したもので 選者についてはいろいろな傍証をあげ大伴家持私選説を唱え 後の万葉研究に多大なる影響を与えた人で後進に春満・真淵・宣長とたどられ江戸国学の祖と讃えられた 彼の恩師たる快円和尚の墓が地藏院墓地の上段に鎮座し仏教興隆を見守つておられる 地藏院はもと東成郡住吉村字大領にありましたが 高野鉄道の道敷にあたり明治三十四年四月二十七日当所に移転 境内は四百坪あまりを有していたが 戦災にて全焼 後の区画整理で市に道路などに吸収され現在は百六十坪に縮小 境内の水賭け不動尊と四国八十八ヶ所地藏尊などが池田市五月山地蔵院別院慶光靈苑へ移設 この地も元禄時代の領主柳沢出羽之守の飛び知行地であり苑内鎮守と仏教興隆のため手厚く祀られています 大正時代から院内に幼稚園を設け子供達の健康と育成に尽力「地藏院さんの三光幼稚園の卒園児です」と声をかけてこられるお方も早八十歳をこえられています 戦後閉園し飾り井戸も撤去当時のおもがけを伝えるのは赤煉瓦塀と瓦屋根と銀杏の大木がしつかりと根ざっています また戦後高野山より分派 単立本山地蔵院として布教 真言宗住職会 摂津之國八十八ヶ所靈場会 大阪府仏教会 大阪市仏教会各団体に貢献歴史あるお寺として親しまれています 合掌

平成二十三年七月吉日

地藏院住職 謹著



『道を學ぶ』

性靈集（弘法大師著）



物之興廢必由レ人。人之昇沈定在レ道

物の興廢こうはいは必ず人に由るよ、人の昇沈しょうちんは定めて道に在り

物の興隆するか、衰退するかは人々が志をかたくするかしないかにある。

またその人々が榮達するかまたは罪惡に沈むかは、じつに道を學ぶか學ばないかによるものである。



こうきょうのひび
洪鐘之響き、き機に従いてけんじよ卷舒し、
くうこく空谷の應、おう器にうつわ遂いてしたが行蔵す。
ぎようぞう



大きな鐘は、かねこれを撞くつ人の強弱によつて音に違いが
でる。

また空谷における山彦は、やまびい人の聲のこゑ大小に従つて山彦
にも大小が生じる。

これと同じように、さんしん仏の教えも人の浅深に従つて浅く
も深くもなるものである。

